

超音波内視鏡検査 (EUS) の説明書

《超音波内視鏡検査 EUS とは》

超音波内視鏡検査(EUS)とは、内視鏡の先端に取り付けられた超音波画像装置で、消化管壁の構造や膵臓、胆管、胆嚢、リンパ節など通常の腹部エコー、CT、MRI などの検査で見にくい部位を詳しく調べることができる検査法です。通常の内視鏡よりも少し太く (約 12mm)、検査時間も 30 分程度かかるため、検査時の苦痛を和らげるために鎮静剤を使用します。



《手順・注意事項》

- ① 検査前日は夕食を 21 時までに済ませ、夕食以後は検査が終わるまで絶食してください。
- ② 水・お茶など透明な水分は検査直前まで摂取可です。(牛乳・果汁は避けてください。)
- ③ 当日の朝はインスリンや血糖を下げる内服薬を中止してください。
1 日でも欠かすと良くない薬(血圧の薬、ステロイド、抗けいれん薬など)は普段通り内服してください。
血液を固まりにくくする薬(抗血栓薬)は医師の指示に従ってください。
- ④ 検査で鎮静剤を使用しますので、**当日は車の運転をおやめください。**
- ⑤ 当日は診察券・同意書・問診表を持って予約時間の 15 分前に外来棟 3 階の光学医療診療部受付に直接お越しください。
*ただし、当日の進行状況によっては 30 分以上お待たせする場合があります。
- ⑥ できるかぎり付き添いの方と一緒に来院してください。
- ⑦ 呼び出し、入室の後、のどの麻酔を行い、鎮静剤を注射するルートを確保し、モニターを装着します。
- ⑧ 鎮静剤を投与し、原則として意識がない状態で内視鏡を挿入します。
- ⑨ 検査時間は約 30 分です。病状などによりもっと時間のかかる場合もあります。
- ⑩ 検査後は鎮静剤などの効果が残る可能性があるため、1 時間程度休んでしっかり覚醒してから帰っていただきます。
- ⑪ **お車をご自身で運転して帰ることはできません。危険ですので絶対におやめください。**
- ⑫ 検査後 1 時間ほどで喉の麻酔が切れ、飲食ができるようになります。
*数日間のはどに痛みが残る場合があります。